たんぽぽ

西東京市立柳沢中学校

第1学年便り

令和6年5月28日

No. 6

1日1字を記さば1年にして360字を得、
1夜1時を怠らば100歳の間36000時
を失う。

幕末の志士であり明治維新で活躍した多くの若者を育てた教育者でもあった吉田松陰が残した二つの言葉をつなげてみました。「1日1字を記さば、1年にして360字を得る。」1日に1

字覚えることを続けていけば、1年で360字を覚えることができる。「1夜1時を怠らば100歳の間36000時を失う。」一晩に1時間無駄に過ごしたら、百歳になるまでの間に、実に36000時間(1500日分、約4年分)を無駄にすることになります。このような意味の言葉です。

1日1日のわずかな努力もそれを長い間続けることによって、やがて大きな成果となってあらわれることがあります。大切なことは1日たりともさぼることなく努力をコツコツと積み上げていくことではないでしょうか。コツコツ努力し続ければ、必ず良い結果が得られると信じて努力を続けましょう。それこそが、自分の目標や夢に到達する確かな道だと思います。毎日続けることは簡単なことではないと思います。しかし、挑戦してみる価値のあることだと思うのですが、どうでしょうか。

このことは自主学習ノートにも言えます。

① 基礎学力の定着 ② 家庭学習の習慣の定着 ③ 自主学習(自分の力で自分で学習すること)の姿勢を養うことをねらって「自主学習ノート」という取り組みを始めました。まだ取り組んでいる人が少ないように思います。中間テストの取組がしっかりできた人は、毎日の学習が定着している人だと考えられます。まだ、日常生活の中に学習が定着していない人は、これをきっかけにして自主学習ノートに取り組んでみませんか。続けることによって大きな力になることに、やがて君は気づくことでしょう。

中間考査の振り返りをしよう。

中間考査の目的は、「自分の力を知り、これまでの学習のしかたを反省する材料にする」ことです。だから、中間考査は、勉強の仕方を振り返ってからこそ終わったといえます。

採点された答案が返され、解答のポイントの説明があります。それを聞いてなぜ間違っただのか、どこがわからなかったのかを確かめて間違っただころをもう一度やってみたり、練習したりして、わかるようにします。さらに返却された答案をよく見て、そこから授業の受け方、ノートの取り方はどうだったか、テスト前の家庭学習の時間は十分だったか、内容はどうだったかなどこれまでの勉強の仕方を振り返り、改善すべき点はないかを考え、それをこれからの課題とします。こういうことをして、はじめて君の頑張りが報われるし、中間考査

は終わったといえると思います。

ふるさと探究学習を振り返って

B組 T A

今日は雨だったので、1つ1つに行くのにとっても大変でした。でも、先生方が作ってくれた問題は意外にも難しかったけど、解けた時がうれしいから楽しく移動できました。同じ班の人に、少し不満を持ってしまった時もあったけど、いっしょに問題を解いていくと、その人の良い所もたくさんでてきて、そういう事も学べました。

地域を見ていると自分が思っていた以上に西東京市は広く、特に田無神社なんかは、家の近くだからただの神社だと思っていたけど、ここにしかない特別な神社なんだと、市に感心しました。

これらのように、何事も頑張り、生きる上で立ち止まることもあるだろうけれど、前へと進み続けます。

B組 T M

先生がいらない状態で地域をまわる、というのは初めての経験で不安であったが、終わってみると楽しい経験となった。私は、全ての場所への行き方が分からなかったので、同じ班の人達に連れていってもらった形となったので、同じ班の人達がとてもたのしく感じた。

今回の地域めぐりは雨となってしまう、服はぬれるし、気分は最悪の状態となってしまったけれど、雨の中でも友達と協力し、目的地までたどりつき、目標を達成できたのはとても良かったと思う。

中学生となって二回目の校外学習でも、今回のように、協力して目標を達成できればなと思う。

お知らせ

・内科検診（5月30日）の時はジャージ登校です。下は、半そで、ハーフパンツです。

・スグールでの欠席連絡は、できないことになっています。学校のほうに電話をお願いします。